

アセットマネジメント基盤整備を提案

中央設計技術研究所

下水道関連事業の公営企業会計への移行による経営基盤の強化が進みつつある中、当社は、アセットマネジメントの国際規格である「ISO55001」の認証取得企業として、下水道事業の持続可能な安定経営に必要な「コスト削減」「パフォーマンス向上」「リスクの適正コントロール」が図れる仕組みを構築している。

具体的には、次の「主な支援機能」を有する「アセットマネジメント支援システム」の導入・活用によるアセットマネジメントの基盤整備を提案している。

「アセットマネジメント支援システム」は経営、維持・運営、環境、防災等の各種情報登録に加え、ストックマネジメント実施方針、修繕・改築、経営戦略等の計画策定、点検・調査、修繕・改築の予実管理および履歴・記録管理、業務指標（VFM、PI）の設定・分析、PDCAサイクルの各段階におけるマネジメント支援に加え、今後の防災、広域化・共同化、官民連携の基礎情報として、総合的に活用できるシステムである。当社はシステム導入、データベース整備、システムを活用したPDCAサイクルでのアセットマネジメント手順の確立まで、「アセットマネジメント支援システム」を活用したアセットマネジメントを包括的に支援していく。

【主な支援機能】

- 点検・調査、修繕・改築、事故履歴管理
- 震災時の調査・復旧支援
- メッシュごとの地震被害想定
- 劣化予測・リスク評価
- 更新需要予測・平準化シミュレーション
- 点検・調査計画支援と予実管理
- TVカメラ調査結果自動取込・緊急度診断
- 修繕・改築実施計画策定と予実管理
- 事業経営戦略策定支援
- タブレットによる現場監理や災害調査対応

